

2024年4月25日

旧西武鉄道の「2色塗り(黄色と茶色)」復刻ラッピング車両が登場！

- ✓ 旧西武鉄道で採用され、その後の標準塗装となったツートンカラーを再現
- ✓ 「505(351系)車両」をモデルに2000系車両1編成の両先頭部分をデザイン！
- ✓ 1920年代から現在までの歴代の標準塗装が5種類揃います！

西武鉄道株式会社では、2000系車両1編成の両先頭部分を1937年（昭和12年）頃から採用された「2色塗り(黄色と茶色)」に復刻ラッピングし、4月27日（土）より運行を開始します。

このカラーは、旧西武鉄道（1922年～1945年／現在の新宿線など）で1937年頃に採用されていました。武蔵野鉄道と合併した以降も「標準塗装」として採用され、1961年まで運用されていました。現在当社の横瀬車両基地で保存している505（351系）車両にも塗装されており、今回のラッピングは、この保存車両がモデルです。

この車両が加わることで、現在当社で運行している復刻カラーの車両は、当社の前身である武蔵野鉄道時代の「茶色（1色）」、旧西武鉄道の「2色塗り(黄色と茶色)」、レッドとベージュの「赤電色（通称＝赤電）」、101系の「ツートンカラー（イエロー×ベージュ）」の4種類となり、1920年代から現在の2000系に代表される「イエロー（1色）」塗装になるまでの歴代の標準塗装のバリエーションをお楽しみいただけます。

なお、本デザインは、清瀬駅開業100周年記念事業実行委員会の委員長である小林純也氏にデザインいただきました。



デザインのモデルとなる
505(351系)車両



ラッピング車両(デザインイメージ)



塗色変更前の2000系

清瀬駅開業100周年記念事業実行委員会の委員長小林純也氏のコメント



清瀬市には、都内最大級のヒマワリ畑があります。清瀬駅開業100周年記念事業に携わる中で、このような清瀬市の魅力を広く周知したいと考えておりました。この度、西武鉄道株式会社ご協力のもと、ヒマワリを連想させる2色塗り（黄色と茶色）車両が実現しました。鉄道ファンの皆さまにも満足していただけるよう、旧西武鉄道時代を再現したデザインとなっております。既存の2000系「西武鉄道創立110周年記念トレイン」や101系「赤電」などとともに、新たな復刻ラッピング車両をお楽しみいただければ幸いです。

1. 運行期間

2024年4月27日（土）から当面の間 ※車両運用の都合により運行しない日もございます。

2. 編 成

2000系 2071編成（8両編成）

3. 運行路線

池袋線・豊島線・狭山線・西武秩父線（予定）

4. 「西武線アプリ」での列車位置情報提供について

西武鉄道公式スマートフォンアプリ「西武線アプリ」の列車走行位置画面にて走行位置を確認することができます。
※列車位置情報を確認できるのは、2071編成が走行中の場合に限りです。

※「西武線アプリ」の詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.seibuapp.jp/railways/seibulineapp/>



「西武線アプリ」表示イメージ

<参考> 現在、西武線で運行中の主な復刻カラーバリエーション



2000系「西武鉄道創立110周年記念トレイン」

武蔵野鉄道を代表する車両「デハ5560形」をモデルカラーとして塗色した2000系車両です。
運行路線：池袋線・豊島線・狭山線・西武秩父線



101系「赤電」

多摩川線開業100周年イベントの際に集まったご要望にお応えし実現した、701系のデビュー当時の色であるレッド×ベージュ色の赤電色(通称＝赤電)の復活塗装です。
運行路線：多摩川線・狭山線



101系「ツートンカラー」

多摩川線開業100周年イベントの際に集まったご要望にお応えし実現した、デビュー当時の塗装色であるツートンカラー(イエロー×ベージュ色)の復活塗装です。
運行路線：多摩川線・狭山線

※時期により運行路線での運行がない場合もあります

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：9時00分～17時00分（12/30-1/3除く）]

以 上